

OBI

お茶の水聖書学院

NEWS



〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 2-1
OCC ビル 2F
TEL 03-3296-1005
FAX 03-3296-4641
Email: office@obi-net.com
Web: //www.obi-net.com
お茶の水聖書学院
お茶の水聖書学院後援会

「玄人はだし」のレイマンを育てる

理事 村上宣道



実は驚いています。お茶の水聖書学院で学ぶとこんなにも成長するものなのかということについてです。

それは、来年の三月に卒業という姉妹の卒業研究を読ませてもらう率直な感想としてのこと。この姉妹が入学したのは受洗してから、まだ二年少ししかたっていないのでしたから、信仰経験も、聖書の知識も浅いものであったのは当然です。それがいいよ

卒業するという今になって見ると、これが同じ人だろうかと思われるほどに、聖書理解の深さとい、テーマの掘り下げ方といい、単に知識が深まったというだけではなく、信仰の成長ぶりが見え、りとそこに何え、推薦させていただいたものとして感謝せずにはおられないのです。もちろん本人の並々ならぬ努力、教会での養いなどにもよるであろうことは言うまでもないとしても、やはり聖書学院での学びと先生たちのご指導が大きかったことは確かであろうと思うのです。私は、彼女の卒論を読ませてもらってこれじゃ「玄人はだしだな」と思わずつぶやいたのです。

「玄人はだし」とは辞書によりますと、素人であるはずの人の作品が玄人顔負けのあまりのみごとな出来ばえに、玄人が思わずはだしで逃げ出してしまふ、という意味なのだそう。考えてみま

すと、聖書によれば初代教会はまさに玄人はだしのレイマンたちによつて宣教は進展していったことを見ます。使徒の働き7章にある、あの旧約聖書を駆使しての大説教はレイマンのステパノによるものでした。聖書は読んでいても理解できていなかったエチオピアの高官に問われてイザヤ書53章を解き明かしたのは、やはりレイマンのピリポだったのです。雄弁家で知られる伝道者アポロを自分たちの家に招き入れたプリスキラ夫妻は「神の道をもっと正確に彼に説明した」とさえ記されています。まさに「玄人はだし」のレイマンであつたということです。

お茶の水聖書学院の使命の一つは、このような「玄人はだし」のレイマンをこの時代に送り出すことなのではないでしょうか。お茶の水聖書学院にはそうできる可能性が十分にあると私は信じています。

新人教師紹介



岩上敬人 師

イムマヌエル綜合伝道団・狭山キリスト教会牧師の岩上敬人と申します。昨年度からOBIでも教師陣に加わらせて頂きました。素晴らしい学び舎で教えさせて頂く特権に与り、主に心から感謝をしています。私は、牧師家庭に育ちました。高校生の時に主からの召命を受け、牧師になる決心をしました。大学卒業後イムマヌエル聖宣神学院に進みました。その後米国ケンタッキー州にあるアズベリー神学大学院で聖書学を専攻しながら神学修士課程を終え、英国マンチェスター大学において新約聖書学で博士課程を修了しまし

た。博士論文ではローマ書、第一テサロニケ、第一、第二コリントから「使徒パウロのホーリネスの概念」の研究を行いました。マンチェスター大学では死海文書研究の第一人者の教授から第二神殿時代ユダヤ教について学ぶ機会を与えられ、また専門の新約学では、新進気鋭の若い教授陣に恵まれ、研究を深めることができました。

OBIでは「ローマ人への手紙解釈と神学」のクラスを担当しています。聖書の読み方、観察の仕方、基礎を学び、それに基づいてローマ書1章から始めて私たちの信仰の土台となる大切な主題「神の義」、「義認」、「罪」、「信仰」、「聖化」などについて学びを進めていきます。クラスはとても活発で、いろいろな質問が飛び交います。熱心な生徒さんに恵まれて、私自身も聖書の学びが深められています。



宮崎 誉 師

この度、2013年度の春学期よりヨハネ福音書の講座を担当させて頂くことになりました。

私は横浜で生まれ育ち、出身教会はイムマヌエル横浜教会です。高校生の時に友人がバイク事故で命を失ったことをきっかけに、何のために生きているのかと、空しさや虚無感に悩みましたが、主の恵みによって、神さまは生けるお方であることに気づかされ、また十字架の恵み深さに目が開かれる経験が与えられて信仰を回復しました。その時から聖書をもっと深く学びたいという渇きを持ち、東京聖書学院と留学先の神学校（東部メノナイト大学、合同メノナイ

ト聖書神学校）で聖書を学ぶ喜びを経験しました。特に修士課程でお世話になったW・スワートリー教授のヨハネ文書の授業で信仰が養われ、またスワートリー先生の主と教会とを愛し仕える聖書研究者としての姿勢に、生涯学び続けていきたいと願っています。現在、埼玉県の日本ホーリネス教団・鳩山のぞみ教会で牧会をしています。聖書はどの書も素晴らしい御言ですが、四つの福音書の中でも、独特な深みを持つこのヨハネ福音書の御言の世界を、OBIの皆さんと共に旅する機会が与えられていることを幸いに感じています。近年の聖書学の視点を紹介し、丁寧な聖書の学びをできるだけ初心者にも分かりやすく、また信仰生活の益となるような実践的な側面も大切にして取り組みたいと願っています。

「ギリシア・ローマの旅」予告

企画者 団長・OBI「聖書の世界」授業担当 飯島勲

「神のことばの現場に立つ」をモットーに、お茶の水聖書学院の「聖書の世界研修旅行」は続けられています。それは、ある特定の歴史と地理の中で語られ記された神のことばを、なんとか同じ背景の下で聞き読みたいと願う私たちの思いから発しています。

2013 年 3 月 13 日（水）〜 22 日（金）の予定で、主に使徒パウロが旅したギリシア諸都市とローマに赴きます。ピリピもテサロニケもアテネもコリントも当時は、ローマの支配下にありましたが、マケドニア、ギリシアが色濃く残っている世界でした。またパウ

ロが、何としてもそこに主の福音を伝えたいと願ってそれが実現されたローマは、人のおふれる国際都市であり時の政治の中枢の地でした。これらの地を訪れることは、必ずや神のことばの理解に大きな貢献をもたらすことでしよう。世良田湧待学院長がチャプレンとして同行してくださることは、参加者にとって大きな安心です。参加を心からお待ちしております。

【旅の特徴】

- ① パウロが訪れたギリシア、マケドニア諸都市を網羅します。
- ② 伝道者たちが歩いたイグナチア街道、アッピア街道、そしてオステティア街道、これら三つのローマ街道の「オリジナル部分」を歩きます。
- ③ 他の旅行ではほとんど行われない紀元 1〜4 世紀の地下墓地群（ローマ聖ペテロ寺院地下）を訪れます。
- ④ ローマでは、パウロが住んだと言われるトラスステヴェレ地区に入り昼食を摂ります。
- ⑤ 紀元 1 世紀のローマ時代の人々の生活が手に取るように分かる、ポンペイ遺跡に優るとも劣らないオステティア遺跡を訪ねます。
- ⑥ その他、ギリシア文明発祥の地ミケーネ、アレキサンダー大王の故郷ペラにも足を伸ばします。
- ⑦ 現地の博物館を訪ねます。



OBI 羅針盤

学院長 世良田 湧待

想定外といわれた東日本大震災から、まもなく 2 年になろうとしています。あの日以来私たちの国の

経済が落ち込み、明るさが失われ、節電、省エネが叫ばれてきました。明るさを求めても見あたらない状態はいつまで続くのでしょうか。

私たちを明るくするのは原発による人工の光でしょうか。本当は心の中の光となる世の光キリストが不在してはいないでしょうか。

今必要なのはキリストの輝きです。日本人の心の奥底に、このすばらしい神の恵みの光が必要なのです。

キリストは光としてこの世に来られました。滅亡へ向かう人類に神の救いを与えるために来られました。このお方の生涯と思想と説教や奇跡は聖書に記されています。日本中の教会の信徒の方々が奮い立ち、地域の教会の中での奉仕が地域への宣教や地の果てまでもキリストの証人として訓練されますように祈って止みません。

OBI は、聖書の光によって整えられ、キリストの証人となるため、信徒の働き人に必要な学びを提供して参りました。多くの学院生が OBI で学ばれる間にイエス・キリストを再発見し、恵みによる感謝、感激、感動の生涯へと変貌していけるのです。今年も新しいクラスを整え、特別セミナー、音楽コンサートなどを企画しております。この働きが教会の皆様への多くの祈りとサポートによって支えられておりますことを感謝しつつ。

学窓トピックス

● 祈り会

11 月より毎週火曜日の朝に加えて、木曜日の朝も、OBI や諸教会の働きを覚えて祈るために、学院生祈り会が開かれております。

● 聖書翻訳セミナー

11 月 28 日（水）東京基督教大学教授木内伸嘉師を迎えて、「聖書翻訳の諸課題―新改訳聖書を例に」をテーマに聖書翻訳セミナーを実施しました。参加者 25 名。聖書翻訳の様々な課題とその広がり学び、翻訳作業の尊さを理解する時となりました。

● クリスマス会

12 月 4 日（火）学院生会主催クリスマス会が実施されました。38 名参加。一部は、世良田湧侍学院長のメッセージによる礼拝、二部は、教師会から堀肇師が小話を披露、学院生会より辻岡健象先生が腹話術、庄司満喜子姉がマジックを披露するなど、楽しい一時となりました。

なりました。

● 卒業式予定

3 月 2 日（土）午後 2 時より、第 20 回 OBI 卒業式が開催されます。卒業を予定し、卒業研究に取り組んでおられる学生一人一人のために覚えてお祈りください。

● 入学式予定

2013 年度の OBI 入学式は、4 月 1 日（月）午後 6 時半より予定しております。

● 2013 年度カリキュラム

次年度カリキュラムが発表となりました。下欄の通りです。新しい講師を迎えて、カリキュラムの充実に努めております。

● ギリシア・ローマの旅 10 日間

2013 年 3 月 13 日（水）～22 日（金）に予定されております。団長は、学院講師の飯島勅師、チャプレンは、学院長世良田湧侍師になります。参加申し込み受付中です。詳しくは事務局までお問い合わせください。

2013 年度前期生募集 前期カリキュラム

	月	火	水	木	金	土
I	11:00 ～ 12:30	旧約・新約釈義入門 福井 誠		聖書重要教理（＊） 藤原導夫	図解 聖書理解の基本 中島總一郎	
II	13:30 ～ 15:00	信徒の実践神学概論（＊） 世良田湧侍 原典による聖書釈義 野口 誠		キリスト教倫理 堀 肇	教会史（＊） 横山 武	
III	15:30 ～ 17:00	聖書原典購読 野口 誠		ヨハネの福音書～愛 の御声を聴く 宮崎 誉	パウロの手紙 岩上敬人	
IV	18:30 ～ 20:00	旧約聖書概論（＊） （音楽科、聖書科合同礼拝） 福井 誠		新約聖書概観（＊） 福井 誠	十字架の道ゆき～マタイ の福音書に学ぶイエス 河村従彦	

* 2013 年度は、働きながら聖書を学びたいという方々のために、夜に聖書の基本的な知識を学べるコースを設けています。

* 教会福音讃美歌講座（通年 15 回）を企画しています。

* ピアノコース、通信コースは、随時受付です。詳しくは事務局までお問い合わせください。

音楽科特集

● 声楽コース

植木朋子

「イスラエルの 神は

賛美の上に おられる」

お茶の水聖書学院（OBI）は 1991 年創立、今年で 21 年目を迎えています。声楽コースはスタートを共にして参りました。

学院の教育目的 1～4 の 3 番には、「伝道的教育活動が多様化しつつある時代の必要にこたえ、各種の伝道活動に従事する働き人を育成する」とあります。教会賛美、礼拝音楽への追及とさらなる向上のためにも用いられてまいりました。

- ・賛美奉仕者として主と教会に仕えて行きたい。
- ・聖歌隊のメンバーやリーダーとして必要とされるために。
- ・賛美を通して主の栄光を現して行きたい。

年齢も幅広く信仰者として様々な戦いの中を学びつつよき証を立てて居られます。

学びは 2 期制にて月 2 回（隔週）年 17 回、2 月又は 3 月初めにミニコンサートを開催、教師、宣教師、信徒はもちろん国も越えています。クリスマスチャンとして救い主を称える賛美と幸いを共有し恵まれています。ともに賛美の輪を広げて行きましょう。



● オルガン・ピアノコース

内藤 真奈

音楽科一般コースのオルガン・コースは 1995 年に開講し、今年 18 年目を迎えました。その間、

多くの受講生の方々が熱心に学ばれてきています。それぞれ、学ばれる年数はまちまちですが、レッスンは継続して学ぶことができそうですので、中には最長 14 年間受講された方もおられます。

使用楽器は足鍵盤付きの電子オルガン（手鍵盤二段）ですが、手鍵盤のみの受講も可能です。このコースは教会の奏楽者、または奏楽者を目指しておられる方々のためのものです。したがって、礼拝で歌われている賛美曲、礼拝のための前奏曲はもちろん、特別集会などでの独奏用の曲などもレッスンいたします。また、希望があれば、独唱の伴奏や他楽器とのアンサンブルについての指導も行っております。

毎年夏には、場所は決まっておりますませんが、声楽コースと一緒に、OBI 教室とは別の場所で、パイプオルガンを使用しているの研修を行い、発表コンサートを開催しています。

オルガンは全く初めてという方もぜひ、一度見学にいらしてください。賛美歌の伴奏も実は奥深いものがあり、多くのことを学んでいただけたと思います。

また、今年度からはピアノ・コースもご案内しております。初の試みで、出張レッスンという形で行うコースです。こちらのコースも基本的にはピアノによる礼拝のための奏楽ということで、指導に当たらせていただきます。同じ賛美曲もオルガンとピアノでは弾き方やアレンジの仕方が全く違います。それを踏まえた上で、より良い奏楽者として整えられていくためのお手伝いをさせていただきます。



●教会音楽科

「新しい歌を主に歌え 詩篇」

「ピアノを習っていました」とか、「歌うことが大好きなんです」ということを、所属する教会の牧師や会員の方々に話すと、ではぜひ奏楽の奉仕をお願いしますとか、聖歌隊へどうぞなどとお声がかかる場合が多くあることと思います。

そこで、いただいている音楽の賜物をどのように用いて、主のために奉仕していったらよいか、クラス授業で聖書と教会音楽について学びながら、実技の個人レッスン（オルガン、声楽、聖歌隊指導法）で必要に応じた学びを積み上げていくのが、OBIの教会音楽コースです。

入学に際しては、音楽の技術の有無よりも、教会のなかで音楽を用いて主にお仕えしていきたいという志を、大切にしていきたいと思っています。



主が、その志を喜んでくださり、学びを祝福してくださるなかで、冒頭に掲げた「新しい歌」つまり、主に新しいいのちをいただいた者が捧げることの許されている賛美を歌う、奏でるひとりひとりとなっていくというのが、教会音楽コースの願いです。
見学も随時可能です。OBI事務局に連絡をしてくださり、お気軽にしてください。

ご献金者名

（2012年8月1日～10月31日）

三浦喜代子、森本穂、木下順子
世良田湧侍、猪狩友行、国東恵子
飯島多稼夫、浪井弘子、窪井節子
有田貞一、有田美榮子、藤原導夫
佐藤敬、小林喜久男、小野沢恵子
齊藤とし子、増尾善文、田中恵子
金本悟、須子都、福井誠
平松庸一、目崎由紀子、植木朋子
中島總一郎、芳賀功、日名富子
松本逸子、奥津晃、藤原智子
西操、長橋和彦、永澤良子
萩原滋、山口松子、石井由紀
町田恵子、永田稔、菅井祐子
藤村陽子、田畑勝敏、原正子

安藤谷子、鬼京由紀子、戸川偕生
北原重信、山本潤、川端安弘
井上春代、横田孝子、庄司満喜子
嶋本洋子、倉内一壽、真野悦子
梅澤近子、小宮明子、中城昭治
中島和子、牧絵理子、小澤ナオミ
脇坂勇、依田和子、滝田幸恵
山本しづか、伊藤洋子
腰越独立教会
市川北バプテスト教会
中山キリスト教会
ホサナ・キリスト教会
クリスチャンペンクラブ

OBI 第 12 期
上半期収支決算報告
(2012 年 3 月 1 日～ 8 月 31 日)

(単位: 千円)

収入	金額
授業料収入	3,576
献金収入	10,946
その他収入	318
収入計	14,840
支出	金額
学事支出	2,926
行事支出	163
経費支出	6,914
その他支出	237
支出計	10,240
収支差額	4,600